

NPO 法人 ベーシックライフインフォメーション協会 会報第14号

台湾留學生の出演でトークショー 聞いて観て、食を楽しんだ台湾デー開催

さる10月21日は雨で台風接近も予想された日であったが120人ほどの参加者を迎えてオール台湾デーが練馬ココネリホールで開かれた。

この台湾デーは昨年に引き続き第2回目、練馬駅に隣接する立地のよさと500人定員のホールが有利な条件で使えることから協会はここで定期的に開くことにしている。

朝9時会員と応援者が集まり飾り付けやイスなどの運搬配置が手際よく行われて定刻に開かれた。台湾映画「Orsボーイズ」の鑑賞者約40人、台湾の子供たちに焦点を当てた長編を楽しんだ。昼食後TSA留学生会の学生10人によるトークショー「台湾から見た日本と台湾の違い」をテーマにそれぞれが実感をもって語った。留学生から生の声を聴いたのはこれが初めてで参考になった。また分野、内容、進め方等に今後検討し充実するに必要な課題も得ることが出来た。

台湾料理の試食提供は参加者に台湾の味を知ってもらいたいとの



台北駐日代表處謝長廷代表から贈られた祝い花



台湾デーの開会を待つココネリホール

希望で、有志の食材費の寄付、プロの料理人の奉仕、バック詰めなど多くの協力があって実現した。飲み物は抹茶も用意し濃茶をたてて希望者に楽しんでもらった。

会場の展示資料は昼休み、試食時間に熱心に見ている人の姿が見受けられた。

台湾観光協会から送られた台湾紹介資料は参加者全員にセットにして手渡した。建設の経緯を知ることが出来た。よかった」との声が多数寄せられ、製作した協会に上映への努力をいっそう求める声も聞かれた。

催しは予定通り定刻に終了、全員であとかた付けをした。参加者、協力者に感謝し、今後も継続し開催することを確認した。

台湾人戦没者慰霊碑で慰霊とハイキング

恒例となった協会主催の慰霊の集いはさる11月3日奥多摩町川野の台湾人戦没者慰霊碑へハイキング、第4回慰霊会をおこなった。

午前11時峰谷橋の馬頭館の上にある民家の駐車場から徒歩で出発し、急な坂の林道を約20分登る。参加者そろって慰霊碑のある笠松展望園に着く。碑の周りは落ち葉が堆積していたのでこれを除去しきれいに掃いた。皆で花と線香をあげて般若心経を誦経し、礼拝し鎮魂を祈念した。

近年奥多摩町が慰霊碑の周囲を整備して繁っていた高木の枝落しを行ったので明るくなった。

眼下に広がる青く光る湖と朱色の峰谷橋の景観が素晴らしい。今回は今井会員から車と運転の提供を受け、恙なく実施できた。



山中にある台湾人戦没者記念碑

座談会

「台湾留学生から見た日本と台湾の違い」に参加して

児玉 治

先月 NPO 法人「ベシックライフインフォメーション協会」に加入したばかりの私に理事長の田代寛範様より座談会の取材をするように依頼され困惑していましたが、以前に在職していた大学で留学生に深く関わっていたこともありお引き受けることにしました。協会で会を催す場合、出席者は年配の方が多い傾向になりがちなので今回のように大学生が参加するのは会の若返りも意図された初の試みということで大きな期待が寄せられていました。

最初に雑談会に参加するメンバーの自己紹介がなされました。皆さんは台湾留日東京学生会（TJST）に属しており、この会は関東地区で最大の台湾人留学生グループです。加入校は18校、台湾人留学生がもたくなって構成されています。この組織は台湾政府の公認団体で各種情報が提供されている台湾人留学生にとって極めて重要なコミュニティです。

所属学部は明治学院大学の国際学部、早稲田大学の国際教養学部のように国際関係の学部に属しておられる方が多い傾向でした。このことから将来国際的に活躍したい意識が感じ取られました。

次に日本に來られた動機が披露されました。いずれの方も日本に強い関心がありアニメなどの影響も強く受けていたようである。又身内に日本人がおられた方もおられた。日本食には大方満足

しておられ、日本の気候に四季があるのが台湾と大いに異なり、特に雪の冬景色は格別であったようです。日本人に馴染みのない味の台湾料理も多くあるようで多くの日本人に台湾人が好む台湾料理を味わってほしいようでした。

質問の時間で私は大学の授業料はだれが払っているのか。奨学金は受け取っているかとの質問に、授業料は親からの支援で、奨学金はあまり受けていないようでしたが、生活費はバイトでやりくりしているようです。以前に台湾の留学生から「自分は日本政府の国費留学生になぜならないのか」との疑問を投げつけられ複雑な思いを経験しておりました。

台湾人の保護者にとって子供にとって望ましい留学先は米国がトップであり、先にも述べたように日本では国費留学生にならないハンデがあるにもかかわらず日本を留学先に選択してくれた彼らを大いに歓迎しな



トークショー出演の台湾人留学生



質問者が立ち上がって



聞き入る参加者

ければなりません。現在、台湾からの留学生数は8330人で国別では第4位、構成比で3.5%です。この方々が米留學生組に負けない学力・知識を身に付けて帰国し、将来日台交流の中心的役割を担ってもらいたい気持ちで一杯です。

（本会会員）

寄稿 オール台湾デーに参加して 増田 公代

10月21日は台湾について直に見たり聞いたり触れたり味わったりとはじめるという体験しました。

映画「Orsボーイズ」は子役の演技が素晴らしくともに泣いたり笑ったり懐かしい思いが込み上げてきたりしました。周囲の大人の対応にもめげずに、夢に向かって前へ前へ突き進む明るさと行動力に、手を付けられないのは大人の方かなとも反省しつつ楽しく見させていただきました。

雑談会では「台湾留学生から見た日本と台湾の違い」のテーマに興味があり、一言一言に耳を傾け真剣に拝聴していました。話の大半は食べ物と友人についてでしたが、それだけ留学生にとっては大事な内容なのだということがわかりました。他国で生きるためには、生きる力の源である「食」が一番大切であることは当然です。食べたことのない生野菜や納豆に馴染んでいく様子、そして今では毎日欠かせない好物になったこ



台湾の味の試食提供

と等ほえましかったです。ラーメン、うどん、キリタンポ、牛丼、焼き鳥など、日常食にしている話なども学生らしく工夫していると思いました。ジョンサン、大戸屋、ネギ井の牛タン屋などのアルバイトの話も、今の日本を支える一助になりありがたいことがよく分かりました。四十七都道府県中、三十都道府県を「旅した建築家の学生の話もさすがでした。しかし「日本人の友達が欲しい」「日本人の知り合いはいるが友人は少ない！いない！」「日本人の友はいても2〜3人だけ」「留学生全員がみな同様に語る言葉に驚かされました。日本人はみな優しいし、いろいろ教えてくれるけれども、心から話ができる人は長年住んでいてもできないと話された。日本人は団体行動は得意だけど少数人数になると警戒され苦手のようなことも……。

わたしにはびっくりすることばかりでした。

留学生の話聞いた後、フリートークを試みましたが、日本人との交流や話が気軽にできる場のあり方や工夫等、何らかのお役に立てる人が会場内におられたような気がして、聞き流しではもったいないと思いました。感想も伝えられたかったです。

映画「空を拓く」はすばらしかったです。人間としての生き方、志の持ち方、実現の仕方等、郭茂林さんの人間性豊かな一生を通じてさわやかに学んだひと時でした。郭茂林さんのお話初めて知りました。霞が関から始まり、副都心、超高層ビル群、貿易センタービル等々の建設秘



2017オール台湾デー



日時：平成29年10月21日（土）10:00~17:00

会場：練馬産業振興公社

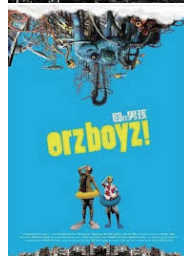
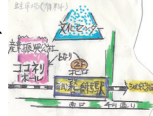
ココネリ3階ホール

主催：NPO法人 ベーシックライフインフォメーション協会

練馬区石神井町6-12-3 TEL 03-3996-0177 <http://bli.jp>

協力：TTSA台湾留日東京学生会 Ttsa.jp

アクセス
西武池袋線、有楽町線、副都心線、
都営大江戸線
駅より徒歩1分。駐車場有料



出し物 『無料』

第1部：映画「Orz-ボーイズ」(臺灣電影工具箱) 10:30~12:15

手のつけられないやんちゃ坊主2人。学校の先生から「うそつき1号」「うそつき2号」という、ありがたない名前をもらってしまう。図書館の蔵書修理をいつけられたことから、2人は空想の羽根を広げ物語の世界に遊ぶことを覚える。

つらい家庭環境に暮らす2人がいま一番行きたい場所は異次元の国『ハイバースペース』。

第2部：雑談会「台湾留学生から見た日本と台湾の違い」13:00~14:00

日本はどこなところだと思いますか？台湾留学生から見た日本はいったいどんなところですか？台湾留学生からの日本にいる体験などお聞きしましょう！台湾留学生が見た、聞いた、体験した、考えたこと等を自由に語ってもらうトークショーです。

台湾郷土点心試食 『無料』 14:00~15:00

第3部：映画「空を拓く〜建築家：郭茂林という男〜」15:10~16:40

日本初の超高層ビル霞ヶ関ビルを手掛けた台湾人郭茂林。日本の統治下時代、台湾の工業学校を卒業した郭は、青雲の志を抱いて上京し努力と研鑽、人柄によって日本の超高層ビル建設プロジェクトを牽引した。その力は何か。日本の超高層ビル第1号をはじめ、数々の日台超高層ビル建設に貢献した一人の男に迫る

話、日本人がもっと知るべき、学ばべきだと思いました。郭茂林さんの子供時代から学生・社会人と志に向かって生きる姿、穏やかな優しい表情の中に、いつも真摯に向き合う鋭い目、お人柄の暖かさが脳裏に焼き付いて離れません。

台湾郷土点心、ビーフンとお餅も素朴でほどよい塩味甘味でおいしかったです。すばらしい体験を一日ありがとうございました。

(本会応援団員)

オール台湾デー2017アンケートの概要

◎記入されていたものをそのまま掲載してある。

出席者 一般参加者 100人

協会会員と協力者 20人 計120人

アンケート回収枚数 34枚 回収率（一般参加者のみ）34%

①このイベントをどこで知りましたか。

練馬区報10 協会ホームページ Facebook 5

雑談会出演者1 チラシ・ポスター2

友人知人11 その他4（ツイッター2含む）

②今回の参加理由は

雑談会に興味2 映画に興味11 台湾に興味30

その他

③「Orz-ボーイズ」の映画は

よい12 ふつう12 よくない2 参加していない8

感想 よい作品、日本語字幕で鑑賞できよかった。

少年の未来へ向かう一途さが心にしみました。

台湾についてよくわかった。

ロマンがある。

少し複雑で判りにくかったが正に異次元の映画だった。

心温まる映画でまた芸術的にも素晴らしかった。

60年代の台湾ニューシネマをリメイクしたような芸術性を持ったジュブナイルだが難解すぎる気も

しました。

内容が理解できなかった。

年のせいかわかんない。

年のかき意味が解らなかった。

④「台湾留学生から見た日本と台湾の違い」

よい 14 ふつつ 6 よくない 不参加 11

感想 いろいろ生の声が聞こえてよかった。

食べ物の話が多く、意味のない話が多かった。質疑応答の時間が少なく聞きたいことが聞けなかったのが残念。どんな日台関係を築いていきたいのか、とか留学して将来どんな台湾を作ってゆきたいのかそんな話も次回は期待します。

若い学生の声を聴けて済生としてうれしい。

学生たちの感じが素直で、清潔で、誠実でよかった。留学先が日本を選んだ理由など聞きたかった。

企画はよかったが食べ物だけに偏ったのが少し残念でした。

学生の皆さんはとても輝いていて後悔しない生き方しているので、とても刺激を受けた。若かったら私が台湾留学したいです。

⑤「空を拓く」の映画はいかがでした

よい 20 ふつつ 2 よくない 1

⑥その他の展示や試食などはいかがでしたか。

よい 19 ふつつ 4 よくない 1

⑦年代 20代 1 40代 7 50代 10 60代 4 70代 13
⑧練馬区在住 19 区外在住 15 (記入のあったのは、町田、世田谷、和光、東久留米、板橋、杉並、多摩、埼玉県、武蔵野、横浜、西東京、茨城県)

その他の感想

空調が効きすぎて寒かった 2

楽しい時間でした。定期的に開催して欲しい。

この会のメンバーの熱意に感動しています。

食事の場などに学生たちも同席してほしかった。「学生と会員の皆さん」との座談会を希望します。もっと深い内容になったかもしれません。

「空を拓く」が見たくて来たのですが面白いイベントでした。次回も期待しています。

もう少し大きくやっていただけると台湾が好きな友人等を誘えるのですが、NPOのボランティアだと大変ですね。次回も期待しています。

観光だけでなくいろいろな分野で交流が深められたらいいですね。

私は済生です。日本の歴史を振り返ると台湾を忘れることはできない。戦後72年が過ぎても運命共同体という先人たちの築いた信頼関係が続いていると思う。この会は大変意義あることを行っていると思う。



●編集後記●

○秋の行事が終わった。ご参加の皆様、会員の皆様ご協力ありがとうございました。来年も新しい趣向で活動できるよう準備を進めたいですね。

○近頃はあらかじめホームページをみてお出でになる或いは問い合わせする方が増えています。この会報とともに広報には欠かせない手段となっています。協会のHPは事務所近所にお住いの山脇繁男様がボランティアで作っていただいています。いつも感謝しています。

ホームページ <http://bli.jp>

ブログ <http://bli7blog.fc2.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/bliassoc>

○ベーシックライフインフォメーション協会は、日本と台湾の親善友好交流を目的とした活動を行っているNPO法人です。会員の会費と拠出、有志の寄付によって運営する自立したボランティア団体です。

○「基礎生活資訊協會」係本著以日本及台灣親善友好交流為目的、(不定期)舉辦活動之NPO法人協會。同時是一個各項經費支出來自於會員會費及各方捐款的獨立自主營運的志工團體。

本協会の構成員(会員及び応援団員)

理事長	田代 實範	郭 純
理事	加藤美智子	鳥羽 展維
理事	田中 依子	江波戸つぎ
理事	岡村 悦子	鈴木陳鴻霞
監事	川添ミチ子	竜川 媛
監事	下田長四郎	郭 惠儷
	中尾 真理	児玉 治
	大野 博子	王 静慧
	真島久美子	蕭 玉蘭
	松山 達郎	松浦 優子
	王林亜希子	新城 肇
	今井 大輔	重松キヨ子
	尹 世玲	

特定非営利活動法人
ベーシックライフインフォメーション協会

会報第14号

発行日 平成二十九年十二月二十日

発行所 東京都練馬区石神井町

電話 〇三—三九六—〇七七

発行人 田代 實範